

すがわら進 News

川崎市会議員

小さな声を 大きな力に

すがわら進ニュース 第140号

発行者：公明党川崎市議団
発行人：菅原進
住所：川崎市多摩区登戸3095
電話：044-933-2043
印刷所：光明印刷
(幸区塚越4-345-105)



ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。
それが「すがわら進」の夢です。

平成24年
第1回定例会

「すがわら進」議員は5項目の質問を行いました。

1 行財政改革—公務員給与の削減

2 登戸土地区画整理事業—駅前広場の整備

3 国立医薬品衛生研究所—本市に移転

4 地域経済の活性化—地域産学連携

5 環境対策—川崎メカニズムの構築

1 国家公務員給与削減にともない、
地方公務員の給与は!!

(1)平成24年度予算は、従来からの要望通り歳出削減を視野に入れた予算編成となりました。

(2)2012年度から2年間、7.8%国家公務員の給与が削減されることになりました。法律の付則で地方公務員の削減については地方自治体の自主的判断によることを踏まえ、市長に本市の対応を求めました。



川崎市の京浜臨海部

2 登戸土地区画整理事業は平成27年度に実現を!!

藤子・F・不二雄ミュージアムや青少年科学館(写真)がリニューアルオープンして、多くの方々が訪れても、駅周辺が通過点で終わってしまうのではないかと懸念されています。

商店街の活性、美化の観点や子どもが喜ぶ空間、人々が憩う場をつくることを要望。

また、仮換地指定を平成26年度までに行うことも強く求めました。



3 明治7年に設立され、
多くの実績をほこる、
国立医薬品衛生研究所が、
本市の臨海部に移転する
ことになりました!!

国より指定を受けたライフノベーション国際戦略総合特区構想の推進を加速するものと、期待されております。

地域
実績

安心・安全の
街づくりとして、
街灯が設置!



稲田登戸病院跡地前の道路に街灯が設置されました。地域住民の方より、夜道路が暗く、安全・安心の街づくりの一環として街路灯の設置の要望があり、「すがわら進」議員は、すぐに行政と連携をはかり実現。住民の方より、感謝の言葉が寄せられました。



完成した稲田登戸病院跡地前の街灯

4 明治大学地域産学連携研究センターが3月にオープン!!

(1)平成24年3月に明治大学の生田キャンパスに、地域中小企業の育成や新技術・新事業の創立のために、地域産学連携研究センターがオープンしました。

(2)京浜臨海部のライフノベーションやグリーンイノベーションなどとの連携や「新川崎創造のもり」やKSP、そして黒川地域の工業用地などとも連携をはかり、「たまフォーラム」の一環として北部地域の新産業創出の拠点と位置づけ、本市産業の活性化につなげることを要望。

(3)市民の利用については、生涯学習事業や会議室などの施設利用を含め、市民の要望に則した運営を求めました。



竣工式に参加するすがわら議員



地域産学連携研究センターがオープン

5 国内初の取組み—
川崎メカニズムを
本年度内に構築!!

本市の環境技術を活用して、本市以外の地域で排出される、温室効果ガスの削減に貢献した量を評価する「川崎メカニズム」制度。この制度を国内初の取組みとして平成24年度内に構築し、国際貢献と産業振興を要請しました。



市議会議員

すがわら進 暮らしの110番

市民相談
お気軽に!

控入室

電話：044-200-3361

自宅

電話：044-933-2043

FAX：044-933-1950

すがわら進のホームページをぜひご活用ください!

URL

<http://www.susumu-news.com>

E-mail

susumususumu@muf.biglobe.ne.jp

すがわら進の
プロフィール

●昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務
●川崎市議会議員に4期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部幹事、川崎総支部連合副会長、
多摩第2支部長 ●川崎市議団団長 ●中央大学学生会幹事・中央大学評議員 ●海城学園海原会常任幹事